

1 はじめに

1 はじめに

飯田橋・富士見地域は、外濠や日本橋川、靖国神社など大規模な緑・水辺空間に囲まれ、保育園から大学に至る幅広い学校等が集積する文教地区であり、緑豊かな住宅市街地、地域に根付く商店街など、そこに住み、働き、学び、集う多様な人々が交流する、潤いと落ち着きのある生活空間を形成してきた。

また、JR 中央線のほか地下鉄 4 線が結節する都心有数の交通の要衝であり、そのポテンシャルの高さから、アイガーデン・エアをはじめとする新たな業務機能の集積が進んでいる。特に、近年の都市再生の動きとも連動して、富士見二丁目北部地区再開発、東京警察病院周辺の大規模開発などが計画されるとともに、アイガーデン・エアと飯田橋駅を結ぶ地区では、JR 変電所跡地や区有地を活用したまちづくりも進められている。

こうした大規模開発が個別に進められれば、「まち」全体に与える影響は極めて大きく、これまで築き上げられてきた「まち」のイメージを一変させるだけでなく、地域が持っている魅力すら失わせることにもなりかねない。

地域が抱える課題は、その地域を構成するすべての主体が抱える共通の課題であり、地域のすべての主体が連携・協働しながら一体となって地域の課題にも対応するまちづくりを進めていかなければならない。特に、「まち」に対して多大な影響を及ぼす大規模事業者は、地域の抱える課題の解決につながるまちづくりを積極・具体的に進めるとともに、地域でのまちづくり活動を先導していく役割を担っていく必要がある。これらまちづくりを進めていくことが、飯田橋・富士見地域が内在する「力」を最大限引き出し、地域が持つ魅力をさらに高めることにつながる。

そこで、今回、飯田橋・富士見地域の新たなまちづくりの第一歩として、住民、大学、開発事業者、鉄道事業者等で構成する「飯田橋・富士見地域まちづくり協議会」での議論を通して地域の将来像を共有しながら、地域の抱える課題にも対応する安全、安心、快適な魅力あるまちづくりを、地域が主体となって具体的に進めていく。